町政を問う!

一生懸命頑張ったのだが

RSウイルス感染症の公費助成導入を
新たなワクチン接種導入は難しい

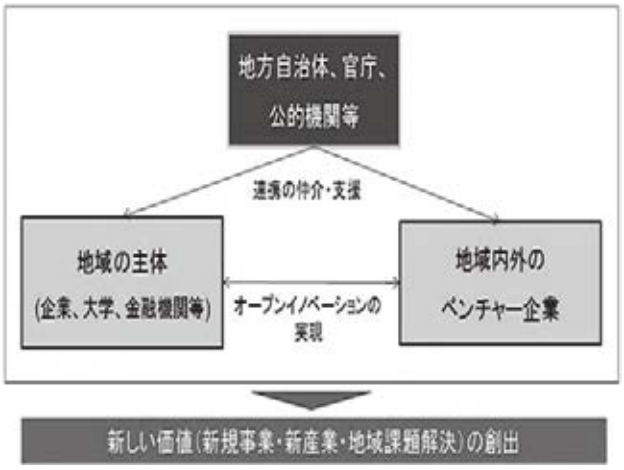
やまね　のりあき
山根 典明 議員

令和7年3月度定例おいて西谷議員が提案された「RSウイルス感染症」について改めて説明。RSウイルスで入院する高齢者が年間6万人。死亡者は4千人と推計。

インフルエンザ・コロナウイルス・肺炎球菌は治療薬が有るのに対してRSウイルスはワクチン(2～3万円)しかない。公費助成を導入し健康問題を抱える町民の重要な課題と考えるが。

町長 現在実施している各種予防接種助成事業に掛かる町の負担状況は令和6年実績で約1・7倍(令和5年に対して)の予算執行になりました。

これは新型コロナワクチン接種が有料になり帯状疱疹ワクチン接種が増加した為です。現状から判断して新たなワクチン接種への町独自の取り組みは難しいと考えます。



自治体×ベンチャー企業でチャレンジを

ベンチャー企業との官民連携で課題解決を!
信頼できる企業なら可能性も

まつおか　だいご
松岡 大悟 議員

町内地域課題は山積しており、「12年間無我夢中で取り組んできたが、課題解決につながらないジレンマがある」と町長自身言っている。地域課題解決は行政だけが取り組む事ではなく、行政と民間がその強みを活かし連携し施策を行っていく事もより今後は重要になると考える。今後、香美町と都市部ベンチャー企業との官民連携による取組みの可能性はあるか。

町長 官民連携事業を進めていくには、本町で抱える行政課題や地域ニーズの中で、官民連携によって解決できる課題が何かを明確化して、広く民間企業が持つアイデアの募集を行う必要があります。ベンチャー企業は一般的に規模が小さく、歴史も浅いということから、信頼性に劣る部分があります。プロポーザルなどで過去の実績など審査の上、信頼できる企業なら、都市部ベンチャーも含めた中で企業との連携により、ノウハウやアイデアを活用する場面も出てくると考えています。